

# ほ う き さん

## 2018年 4月

棕本673 存仁寺



臼井貞子さん作

「一念多念文意」

回心というは  
自力の心を  
ひるがえし  
するを  
いうなり

春爛漫の日、智積西勝寺様にてちひろさんとの尊いでのご縁をいただきました。トーキーの中で、祖父の導いてくださったご縁というお話をされました。ちひろさんの祖父は東昇さん、ウイルス学の博士で、人生の晩年は「念佛者」と呼ばれた方でした。鹿児島県川部町、隠れ念佛の里のご出身で、東さんのお母さんは文字が読めず書けずの方でしたが、仕事をしながらいつもお念佛がこぼれるお方だったそうです。勉強熱心だった東さんは当時、海軍の養成のため東京の麻布中学に推薦入学をされますが、やがて身体検査で海軍への道を止む無くされ、挫折の中帰省されたそうです。その心を救つたのが両親の大切にしていた『歎異抄』だったといわれます。そして医学の道へ進学を志しますが、何でも望むことを受け入れていた優しいお母さんが「親鸞聖人がお生まれになり、法然聖人に出遇われた場所、ご本山のある京都に行つて欲しい」と切望されたそうです。京都大学の医学部でウイルス学を学び、研究、やがてはその権威者となつていかれます。海外派遣から戻り、当時ドイツ・ベルギーに一台づつしかなかつた電子顕微鏡を苦学しながら設計、日本初の制作、完成させました。しかしそこにも、お母さんが、田畠を売り、家までも手放して資金援助されたそうです。科学の道、宗教の道を歩んでいた人生、晩年は「私は母のおなかの中にいるときから、お念佛を聞いていました」と目に涙をにじませお母さんの話、講演をしていかれたそうです。紫綬褒章の折記者からの質問に、「私は科学者である前に一人の人間であります。自分の生の総決算は、ただ念佛であります」とおつしやいました。様々な悩みに遇つたとき鴨川のほとりで『歎異抄』を開き、声に出して読んでおられたといわれました。お母さんから受け継いだお念佛の心は、科学の道を歩みながらも救つてくださつた道であつたことのお話に、満堂の聴衆の心の中にもあたたかな、和らぎの花が咲きました。

「回心というは自力の心をひるがえしするをいうなり」

今月の言葉は、親鸞聖人の著作『唯信鈔文意』の一節です。

「回心」という言葉は、一般的には「かいしん」と読み、これまでの誤った心を改めることをいい、「改心」と同じ意味で用いることもあります。キリスト教などでは、過去の罪の心や生活を悔い改めて、神の正しい信仰へ心を向けることを「回心」というようです。仏教ではこれを「えしん」と読み、もともとの心をあらためて正しい仏道に向かうことをいいますが、浄土真宗では、今月の言葉のように、自力の心をすてて他力に帰することを「回心」というのです。いずれにしても「回心」という言葉は、これまで自分の持つていた価値観が崩れ、まったく新しい価値観が誕生することによって、人格の内面が変化することであるといえます。

親鸞聖人は兄弟子であった聖覺法印の書かれた『唯信鈔』をとても大切にされ、関東の門弟たちにもたびたび書写して伝授されていますが、その『唯信鈔』に出ている文について釈されたのが、『唯信鈔文意』という書物です。はじめのところに「唯」ということばを解釈されて、「ただこのことひとつという、ふたつならぶことをきらうということばなり」といわれ、また「本願他力をたのみて自力をはなれたる、これを『唯信』という」とかいわれています。親鸞聖人にとって、「他力」とは「自力」をはなれることであり、本願他力のほかに、他のことを並べないことでありました。阿弥陀さまのお救いにあずかるとは、これまで迷い続けてきたもとである自己への執われ、すなわち「凡夫自力のはからい」を捨てて、阿弥陀さまの智慧と慈悲のはたらきすなわち「他力本願」によつて、必ず淨土へ生まれて眞実のさとりを開くことに決定した身(正定聚といいます)にしていただき、今ここから、さとりへの道を歩いていくことだつたのです。

## 4月の行事

1日(日) 6時30分 おあさじ



鈴鹿組はなまつり 常信寺様 9時30分

5日(木) 10時 コーラス

13時30分 無量寿会花まつり・総会

16日(月) 6時30分 おあさじ

21日(土) 17時~19時 お寺でヨガ

28日(土) 13時30分 春季永代経法要

29日(日) 13時30分 春季永代経法要

17時より世話方会

### 春季永代経法要

4月28日(土) 午後1時30分 おつとめ

4月29日(日) 午後1時30分 おつとめ

法話 一志 西向寺 楠原純悠師

亡き方を偲ぶ私に、すでに仏さまとなった亡き方が、いつでもこの私に願いをかけて下さってあります。仏の願いに遇わせていただきましょう

## 宗派・教区・鈴鹿組関連 4月

1日(日) 鈴鹿組はなまつり 9時30分 常信寺

15日(日) 鈴鹿組運営委員会 13時30分 専念寺

22日(日) 鈴鹿組臨時組会 芸濃庁舎 13時30分



3月11日 14時47分、  
東日本大震災から7年です。  
追悼の鐘を撞きました。

## 世話方引き継ぎ

2年間の任期でお世話いただきました世話方さん、新任の方へと初めての引継ぎをさせていただきました。たよりの配布・護持経費



などの徴収と回っていただく場所などの確認です。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

3月長女が得度をいたしました。法名、釋響暁です。  
あたたかい、お育ていただきすることをお願い申します。

## 5月の行事

1日(火) 6時30分 おあさじ



3日(木) 13時30分 コーラス

13日(日) 10時 仏教婦人会役員班長会議

16日(水) 6時30分 おあさじ

24日(木) 13時30分 無量寿会例会

26日(土) 19時 仏教壮年会総会

4月29日(日) 午後5時より世話方会  
を持たせていただきますのでご予定下さい

## お念佛のひろば ご案内

毎月 17日 津市丸の内 正覚寺様「紫雲会」

おつとめ 午前10時30分

午前の部 午前11時から12時30分

午後の部 午後1時30分から3時

4月 17日(火)『闇は聴より生ず』

大谷派 伊東惠深師 (聴講費 700円)

正覚寺婦人会勉強会

「妙好人から味わう浄土真宗」

4月 22日(日) 午前10時~12時

『お軽同行』存仁寺住職

## 安東町西光寺様 永代経ご案内

5月 5日(土) 両日とも午後1時30分

5月 6日(日) 法話 一志 加藤幸子師

(5月5日は午前10時より子どもの集い)



## 合同墓が完成されました!!!

4月 28日(土) 午後1時より、  
建碑法要をおつとめさせて  
いただきます。どうぞ皆さま  
ご参拝ください。

お寺でヨガ!!! 2時間のリラックスタイムです。  
子どもさんから、ご年配の方まで  
無理なくゆっくりと体をほぐし、  
気持ちを和らげ、ゆったりとする  
解放感あふれるひと時です。  
あなたも、一緒にはじめませんか。

